

V3. モノづくりのまちとしての魅力をもっと高めるために、これから必要だと思われる取組やお考えをお聞かせください。

まだホームページとか作っていないので当社がどういふものを作っているかわからない人が多い。でも注文が多くなると生産能力がないのでニーズに対応できない。いろんな人知ってほしいだけです。	1
(1) 社会のニーズに合った開発・設計・製作ができるかどうか、できる人材をどうして育成するかを考えた取組が必要。 (2) 以前の取組みで、当市における人工衛星の打上げ、成功が印象的であった。これに相当するイベントがあればと思います。	1
(今は休業中です)	1
?	2
“コレも作られています”的な発信が身近で必要ではないでしょうか？例えば、電車内の中吊り広告やCM、多くの人に目に触れる、単純な発信が良いと思います。	1
“モノづくり”の楽しさ、技術の継承を東大阪から発信して人材の育成を進めたらと思います。	1
IoTやAIを意識した積極的な取組み	1
「モノ」を単なる品物、目に見える形だけを意識してとらえるのではなく、「モノ」＝「形のあるもの」+「見えない付加価値」ととらえ、「見えない付加価値」＝「ソフトウェア」の部分にどれだけかかわることができるかを考えて取り組まなければならない。形あるものには既に価値はほとんどない。	1
「モノづくり」を大きくかかげるのであれば、もう少し中小企業が経営しやすくして頂きたい。(税金、騒音問題、助成金の拡大等)	1
「モノづくり＝工場」からイメージされるネガティブな要素、とりわけ公共空間に影響を与える騒音、振動、悪臭、大気汚染、水質汚染などを改善し、「工場が集積する街＝近づきたくない街」というイメージを変えていくことが必要と考えている。	1
「モノづくりのまち」と主張している割には、工場はどんどん少なくなり気づけば周りには住宅が建って仕事やりにくくなり、それがまた工場を減らす原因になっています。住宅をこれ以上「工業地域」にふやさない取り組みをしていただきたい。もし、建っている場合は、騒音などの苦情をいっさい言わないと約束させる規制をつけてほしい。	1
「モノづくりのまち」のイメージ作り(例えばマスメディアへの広告) 「モノづくりのまち」の街なかでの情報交換・交流(例えば、インターネット掲示板、Facebook等SNS利用・活用)	1
「モノづくりのまち」を継続するためには、「若い力」が必要である。今の若者がオッサンが考えているよりも将来についてシビアに考えている。税制・補助金、子育て、教育、等々に今よりもメリットがなければ「モノづくりのよろこび」を感じるまでに、生活が続かなく、辞めていく。キレイな言葉だけでは、人と同じで老朽化するだけである。	1
「産学官」による、人材育成の強化、育成が必要だと思います。 公共施設の設置、「文化施設、病院、交通のアクセス等」の充実。	1
「東大阪」をブランド化しようとしてはいけない。絶対にダメ！！世界を相手に仕入、販売する。工場事務所も世界にある。その本社なり創業の地がたまたま東大阪と言うのが正しい。東大阪を意識すると売りも買いも事業所も全てを東大阪でやると言うマインドコントロールが働いてしまう。	1
○インフラを整備し、美しい街にする。 ○製造業者に対する優遇施策を決める。 ◎メーカー、協力会社を問わず、生産性を上げるための手法をもっと検討すべきである。 ◎少量の注文でも利益の出る生産方法 ◎5Sを理解し、実施している町	1
◎住宅・工場の混在地域での近隣対策の充実(現状、住民からの匿名での通報・苦情に対して、ルール内であっても(騒音値など)企業に不利な指導をしているように思えます。)◎クリエイション・コアなどの施設の利用が一部企業に偏っている。利用促進のためにより一層の工夫をお願いしたく存じます。	1
・メディアへの露出 ・若いデザイナーの移住	1
・モノづくりのイメージを良くする。 ・若い方でも興味をもたれるイラストも含めたモノづくり企業紹介	1
・モノづくりのまちとして、各企業と市や関連団体がSNSなどを使い積極的にアピールすること(東大阪としてのモノづくりの強み)	1
また、次世代にモノづくりの魅力を伝え、企業を存続させていくこと。 ・工場周辺は交通量も多く、小学生や年配者との事故が懸念されるので動線を考えた街づくりをしていただきたい。	1
・やっとな国内で東大阪市はモノ作りの町として知られる様になったが、まだまだ広報が足りない。マスメディア利用し海外へも宣伝必要 ・具体的にどこで何を作っているか、どこへ行けば見て、さわって、体感出来るか。東大阪の代表される企業と製品は？ ・子供達特に中学生、高校生にモノづくり体験教室を。将来の広報マンを作る。	1
・近隣の住居とのミスマッチの改善(例)準工業地域には住居を建てさせない。	1
・国内外に問わず、異業種間の交流の場提供促進させ魅力ある商品を創り上げて行く事が大事ではないかと考えます。	1
・モノづくりの町として絶やすことの無い、中小零細企業の具体的後継支援 例として、異なる分野別に必要と思われる職種・業種に付いては、市としての認定を経て継続を可能とする経営支援を取り入れた会社単位での融合も視野に入れた支援策	1
・住工分離 ・税金、補助金等の優遇措置 ・土地の確保 ・人の確保	1

・住民の理解(工場跡地に住居が建って創業に影響が出たという話をきくことがある)	1
・困ったことをお互いに相談できる環境	1
・助成金の増加 ・異業種交流会	1
・人材の育成	1
・製造業のイメージアップ	1
・戦前からの変遷を考えると①鑄造[茶釜、紡績機部品、工作機械部品他]、②家庭用ミシン部品、③弱電器部品他のようにその時代に於いて各自が持っている技術で対応してきた。中には新しい製品をつくりだし新規に売り出したところもあるが、少ない。大方は大企業とのつながりで事業協力している。今後この形が続くと思われる。ボルトを地場産業という人もいるが、それは間違いです。	1
・操業環境が重要。 ・高い技術をもった職人が減少し、その後が不安	1
・他社のモノづくりの魅力、強みを知りお互いに協力し合って切磋琢磨していく ・海外との直接取引をする企業を増やすことで逆輸入の知名度をあげることが重要	1
・中小企業の町として活気のある企業を育成する必要がある。 ・若い人が企業し易いように市からの補助金、アドバイスを積極的に行う必要がある。	1
・中小製造業者への優遇税率 ・市独自の債務保障制度(企業の世界への貢献度や独自性の評価による)	1
・都市計画の見直しが必要 ・子育てを進める。一現在の子育ての問題点を帝王切開が5人に1人の子で出生体重児は10人に1人。子供のロコモは約2人に1人生まれている。これらの状態をなすすもなく見ているのが今の行政ではないのかと思っている。	1
・東大阪市は大きいトラック等が多い為、混雑している。インフラの整備は必須だと思う。 ・飲食店等でよく感じるが、店員の対応が悪く感じる場面が多い。わかりやすく例えると「やさぐれている」イメージ。上記2・を考えています。	1
・東大阪市を中心とした「発進力」強化 →現状の活動内容が知られていないケースが多いのではないのでしょうか？ 1.の⑨支援施設やイベント・展示会など、まだまだ浸透しきれていない。 ・休眠工場や稼働率の低い工場の活用(レンタル工房的なもの等) ・IT企業の創業支援、試作支援	1
・道路交通網の整備(渋滞解消等) ・金属・機械加工産業に偏っており、今後、第4次産業革命を担える産業の育成、支援団体、コーディネータ等の育成、採用	1
・優秀な外国人が働きやすい街づくり(ただし反日外国人はいらない！)	1
1)同業者間の交流 (a)技術力の工場 (b)市場の動向 (c)今後の企業の有り方等の●●合●	1
1. “モノづくり”という言葉自体を見直してはどうかと思ひます。この言葉は一般の人からするとよく分からない。完成品を作っているイメージで、実際の市内企業が行っている事と結びついていない印象を受けます。 2. 会社の前の道路・歩道などに荷物を置いたり、車を駐車したままにする事を各企業がなくす努力をする事	1
1. 工場用地の確保(工業団地等工業専業化地域) 2. 税制の優遇(固定資産税・償却資産税・事業所税等) ①なりふり構わず建売住居ができて、モノづくりどころではなくなってきた。古くからの工場優先の施策が必要だと思います。②道路の電柱が通行の妨げになっている。道路の端いっぱいに移設することができないでしょうか③大手企業の誘致	1
1若者が製造業に就くメリットを高める(収入) 2女性が働きやすい職場にする(環境)トイレ、休憩室 3マイスター制度などを検討(意欲) ●補助金の活用により小企業にも人が集まる施策を講じる ●モノづくりの重要性強くアピールする	1
①人材育成の支援 ②事業継承しやす税理優遇 50年～100年先を見たときにモノづくり企業の数は激減すると思ひます、モノづくりの次のブランドイメージが必要で	1
IoT・AIの技術を、各社が取り込めるように支援することが重要と考えます。	1
JR長瀬と近鉄長瀬間の再開発して研究拠点(近大や公的機関、企業など)を整備してほしい	1
PRで世の中にアピールする	1
TV露出をもっと。知名度を高めること。	1
アイデアは無数にあるのでそれを形にする環境やグループ等を市が中心となって運営できれば良い。造る事には長けているが、売る事にもっと力を入れて商品名やブランド名によって知名度を上げていく	1
あまりオンラインワンにこだわらず当たり前な事をミスなくやる企業にもスポットを当てるべき。	1
あらゆる製造の集積と情報の発信	1
いつも新しい技術に関心を持ち続けること	1

イノベーションによる意識の改革 市と市民が一体となって活動できるような事業を背景的に実行しなければ将来のビジョンはないと思われる。商店街の活性化、空家、空工場の活用、道路鉄道の整備等、人の往来が活発的に増加するような戦略が必要だと思います。	1
インターネットでの情報発信	1
インフラの整備	1
インフラの整備がもっと必要だと思う。	1
お客様の多様なニーズに対応できるよう常に目標意識を持って行動していく体制を整える	1
お客様の要望に応えて感動してもらえる製造業を目指す	1
お客様先様からも東大阪=物づくりのイメージがあると良く云われます。それに答えられる様、高精度な物を作っていたらと思います。	1
きれいな、工業団地をつくらたり、補助金の情報を企業に流し、利用して、企業の投資を進める。補助金のアドバイザーをつける。	1
クリエイションコアの活用	1
ここ最近人材の確保の点で問題が多く、続かない。モノづくりに向かないといった事で若手人材の、本業職に向けた人材をどうやって確保するかが一番の関心事となっており、求人に対する取組をどうすべきか、何か方策がないかと考えます。	1
これから減りつつある人口の中でつくることを生業とする若年者をいかに増やすか。大企業が減り、中小企業が自然衰退しないために、モノづくりの大切さをアピールすることが大切。観光資源としての取り組みのほか、製造しているモノへの意識、メーカーと生産者をつなぐ、社会的責任と自負、ドイツのマイスターに習いブルーカラーの地位向上も大切だと考えます。	1
これから必要ではなく、大昔から足りないこと。 代表者の質が悪い。いわゆる“オッサン”“オッチャン”ではなくビジネスのルールを多少なり理解した経営者。 「まち工場のオッサン」からの脱却しなければ淘汰される。 「シュツ」とした経営者。	1
これまでのロケット開発のように会社同士協力し合い技術力を高めることが必要だと思われます。その技術の力を東大阪以外にもアピール出来れば良いかと思われます。	1
スピーディな増設に対応して頂ける行政	1
すみません、今まで考え多ことがないテーマなので、いい答えを持ちあわせておりません。	1
それぞれの企業が個別に奮闘されていると思います。個々を結ぶネットワーク(情報)もあると思いますが、私(弊社)自身利用、活用できていません。もっとそのようなものをPR(案内)していただければありがたいです。	1
できるだけ多くの会社が残っているように税制面や助成金を優遇していただけたらと思います	1
どくになし	1
どこでも作れるものではなく、(設備だけ導入すれば出来る様な)熟練度、積み重ねによる、AI、ロボットはい無い物作りを目指す。HPや外部との接触が少ない企業にもネットワークに入れる仕組みが必要である。	1
どんな品物でもこの地域に依頼すればできるようにする。地域の中で外注などがまかなえるようさまざまな中小企業、零細企業が生き残りやすい環境にしてほしい。税金面外景気対策等	1
なし	1
なし	1
ネットではなくじかに、目で見て、手にふれる事が出来る仕組みかな。	1
ネットワークの供花(人・企業)、まち全体のIoT化	1
ブランディング	1
ブランド形成された協同プロジェクトが成功した未来イメージを見える化、具体化して欲しい。(10年後の東大阪のイメージ図など)何をすべきか?の目標を明確化してもらおうとわれわれのお役立ちの方法が見えるのかもかもしれない。	1
まいど1号の人工衛星の様に密な異業種間の交流などによる何でも作れる町にしてはどうかと思いますが…。	1
まいど1号の様な、大きなプロジェクトを市全体で協力して作り上げる。(強みの有る分野)又、そういったものを積極的に宣伝、周知する。町・ものづくりを知ってもらえるような施設(ファミリーで行ける様な)を作り、集客もできる様にする。	1
まいど2号!!	1
まずは東大阪市内に住んでいる人たち(モノづくり企業と関係のない)にPRすること。特に子供たちやその家族にイベントなどを通じて企業の技術や商品を知ってもらう機会を作る。小学校の教育や課外授業、社会見学に企業見学を入れる。	1
まず個々の企業がそれぞれで、世の中に必要なモノに対して積極的に情報収集し、創意工夫・改善に取り組みながら、企業同士で情報を共有し、切磋琢磨することが必要だと思われます。	1
まだまだモノづくりのまちとしてやっていくのは大変と思われますですが、もっと情報発信に努めてもらいたい	1
まだまだ東大阪内都市イメージが他の地域に知られているのアピールを高めていく。	1
メディア、SNS等の活用により知名度を上げる	1
メディアを活用し、各企業アピールする	1
メリットがあると思える情報が欲しい。	1
もう少しモノづくりのまち東大阪という言葉が先行するのではなく、具体的にここが違うというところを発信すべき	1

もっともっと、子供達にもものづくりの楽しさを体験させてあげれる場を増やしていくこと。ワークショップなり工場見学なり。ものがつくられていること、こんなこともあんなことも東大阪で作り出されている!ということを知ってもらいたい。	1
もっと技術力を上げ横のつながる企業と連携し、お客様のニーズにこたえるべく、世界にまねできない製品をうみ出していく。	1
もっと零細企業に経営しやすい融資体制を考えてほしい。	1
モノキュメントなどを作り全国へアピール、例えば東大阪高井田中央駅を降りてすぐ、現在タクシーのターミナルのド真中にインパクトの高い構造物を作る。東大阪のモノ作りを色々な場所にショーケースを設置して大手企業、大小問わず展示する。	1
モノづくり=ネジ・機械加工では絶対に未来はない。モノづくり2.0→製造業とソフトウェア(プログラマー・ITエンジニア・システムエンジニア)を融合させる取組みが必要では?! モノづくり+東大阪、特にソフトとハード(モノづくり)が両方高次に必要なロボット、EV、例えば…、スマホを使って金型管理をしたい時、どこに相談すれば良いか途端にわからなくなり、製造業とソフトウェアには大きな垣根があると思われます。	1
モノづくり=職人仕事という考えではなく、プロのモノづくりを目指し努力する事だと思っています。プロのモノづくりとは良いモノだけを作るのではなく、お客様の要望に沿ったモノづくりをしていく事が大事だと思います。	1
モノづくりでも業種をしぼってPRした方が良いと思う 何でもかんでもモノづくりでまとめるのはどうかと思う	1
モノづくりといっても、下請企業が多い中、技術力を生かした、各企業間での協力が必要	1
モノづくりとしてのブランド力は十分あると考えていますが、あえてちがう視点で言うと、せっかく多数あるモノづくり企業ですが、町工場が多いため、車で来客するのに苦労する(せまくて車がとめれないなど)をよく聞きます。道路整備をして、お客様が行き来しやすい方法も考えてはどうか?と思います。	1
モノづくりとは技術、技能をもった人であると考え。プロとしてのホコリをもてる環境作りが大切だと思います。	1
モノづくりとは金属、機械だけではなく、もっと雑貨などソフトな商品商売に目を向けるとありがたい	1
モノづくりとは生産技術者によっては生涯の学習の地だと思います。色々な人との出会い、物との出会いはおとろえることのないエネルギー供給源であると共に少しでも社会貢献の出来る場であると思っています。	1
モノづくりと何かもう一つ考えたい	1
モノづくりと言えば何か地味ですが本物である事をもっともっと発信出来れば良いと思います。	1
モノづくりと生活が混在しすぎ。分けたまちづくりが必要。	1
モノづくりに関する技術を日々鍛錬することを基本とする。当社を含め、取引先等関係会社様にも多く見られるように、技術者の高齢化が進み、その技術や経営の継承にしっかり取り組む。5年、10年、30年後を常に意識してゆく。IT、IoT、AI関連の勉強や、異業種交流に時間を作り、今後の経営に活かす。	1
モノづくりに関する人口を増やすこと。(中卒・高卒でもモノづくりに係る人が増えること)、モノづくりに係る人のレベルを上げること。(工業高校のレベルUp)、モノづくりに係る人達がもうけられるようになること。(所得も増やし魅力的な仕事にする)、モノづくり優先の規制にすること。(有毒・有害なもの以外は緩和するなど)	1
モノづくりに関する専門的な教育	1
モノづくりに興味有る若手を育てる事	1
モノづくりに係る人口を増やすこと。モノづくりに係る人のレベルを上げること。モノづくりの係る人たちの所得を上げること。	1
モノづくりのまちである事をPR(今以上に)	1
モノづくりのまちなど、日本中にあるもので、まちづくりのテーマではない。ラグビーのまちが、東大阪市のまちづくりのテーマであり、元本である。モノづくりは、その都市の経済基盤の種類であって、それをラグビーのまちと同列にあつかうのはまちがっている。ラグビーのまちの東大阪の経済は、中小企業が集結(スクラムを組んで)	1
モノづくりのまちをもっと支援する制うに注力すべき	1
モノづくりのまち東大阪の明確な性格付けが不明。モノづくりのなかで何が強みなのか?弱点は?国内市場のみの企業の比率は?海外市場を相手手している企業の比率は?売上げのシェアは?	1
モノづくりの為に助成金が多く出来ればよい	1
モノづくりの現場のことを発信していくこと。関わる人の地位向上。	1
モノづくりの存続	1
モノづくりをする会社・工場に必要な人材の確保が必要です。若い人への技術の電動、機械だけではなく、手作りのポイント、東大阪市内に住む若い人が市内で働く魅力作り、メリットを作る。外国人の人にも東大阪市内に住み働くメリット作りなど他の市では無い、東大阪で働きたいと思ってもらえる魅力が必要です。	1
ものづくり加工製品の見本市みたいなものがあればよい。例えば旋盤、プレス、メッキ、塗装、研磨、溶接等の技術力を見せる場があればよい。	1
モノづくり企業と子供達もつと出逢える場の提供。高付加価値化のための補助金採択数を増やす。技術交流ブラザの内容の充実。コーディネーターの訪問とその後の回答が必要。広域のマッチング会の開催。	1
モノづくり及び企画に於いて、サービス、営業に対する助成金制度の向上	1
モノづくり推進地域を拡大し東大阪市全体で、製造業を応援していく姿勢と施策・道路網の強化	1
モノづくり中小企業が集積していること、自社だけが良くて成り立たない。よって行政の中小企業(モノづくり)育成やたえず刺激を与える施設が重要であると考えます	1

モノづくり補助金はとても良い精度だと思ふ。今後も続けて欲しい。海外に比べて何千億もばらまかなくなら、こちらの方が身になる。大企業が東大阪にこれる税制度必要。雇用が守れる他、仕事も確保出来る	1
モノを作るだけでは無く、モノづくりの過程で発生する残渣等を再利用し、エネルギーに変換する。捨てればゴミ再利用すれば資源。当社ではカット野菜製造過程で発生する端材を再利用しバイオガス発電に利用する。国内では初めての取組となり、本年11月新工場と合わせて建設中。350万KW/年の発電を計画。	1
よくわからない	1
より細やかな情報発信の充実。	1
ロケット部品の製造等、普通の生活の中でも意味がわかる内容ですとメディアを使っての話などわかりやすいと思ひます。「自転車操業の町工場が多い町」が昔のイメージでしたが「ものづくりのまち」ステキな言葉です	1
ロボット及びロボットマシニング付旋盤設備を考へてる。	1
ワールドカップもあり、東大阪市をもっと活気のある町にして欲しい。元気がない	1
わからない	4
わからない。	1
わかりません	2
わかりません。	1
以前に当方の商品を海外(ヨーロッパ)への販路を東大阪市が窓口になって販売して欲しいと提案しましたが、一部の企業だけしかとりあつてもらえないようですので、現在はお断りしようとは考へていません。	1
異業種が一つの団地に有り、発注者は加工手順の一番目に持って行き順次手順書の加工業者に持ち込み最終メッキ仕上げで完成。大手の業者は現在1日に数カ所の下請に走っている。例 1材料のカット 2プレスによる加工 3穴あけタッパ 4メッキ 仕上げ	1
異業種コミュニケーション、情報交換	1
異業種企業との交流	1
異業種交流会などの開催	1
街全体の道路網を含めた整理、整備(雑然とし過ぎている)	1
医療機器関係の開発が必要と思ひます。	1
一般にモノづくり＝町工場＝ネジや鉄鋼など…というイメージが強い(よくない意味で)。弊社は衣服、タオルやデザインが「売り」なので、そういうモノづくりもあるんだというイメージに変えていきたい。	1
営業力が乏しい為、発想する事が出来ません。	1
縁が少ない。車道歩道の区別を明確に!	1
汚いというイメージがついているので、キレイなイメージをもってもらえる事が必要かと思ひます。	1
横(企業間)のつながりが必要かと思ひます	1
横・たてのつながり	1
横のつながりが広がってほしいと思ふ。	1
下請け加工のみでは廃業に向かう事業所が増えていく一方だと思ひます。畑違いではありますが、自社製品の開発に取り組んでいます。製品評価の相談、判断といった問題について、相談相手として、適当な場所がない展示会の情報が欲しい。	1
下請け工場を便利屋の如く付合うところが非常に多い様に思ふ。昔ながらの人と人とのつながりが薄れてきている様にも思ふ(年の影響かもわからない)このような点を何とか改善出来る様に努力する必要がある。	1
何も無い。	1
何故、何、不思議等、興味を持つこと	1
価格を安くしない	1
価格競争のないまちづくり。	1
価格優先をやめる	1
家内工業な会社で薄利な中で設備などの入れ替で高額な機械が必要な時東大阪市のバックアップが必要です。その為に申し込める時の簡素化が願う所です。	1
河内市時代、工場誘致で大阪市内から進出したが現在住宅地となり、規制が多くなり、ものづくりがしにくくなっている。近隣の会社は奈良に移転し大成功をしている事を聞か、何時か移転も考へる時が来ると思ふ。	1
過去3年間で協力会社の廃業が続き新製品づくりが難しくなっている。	1
我々の様な小さな事業所には目が向かわれず残念です。	1
会社の移転&廃業の跡地がすぐに住宅地に使われていますが行政の方で工業地を確保できないものではないか	1
会社組織でも少人数や個人事業の工場が操業していきやすい続けられる環境を作してほしい。例:貸工場近く準工業地への新規住宅分譲等による新規住民とのあつれき防止。地主の相続による工場地の変化防止などでお願いします。	1
解らない	1
海外で造られる製品が、高技術。低コストで仕上がるのに不安を感じる。海外へ流出しすぎないような政策が必要だと思ふ	1
海外にアピール・展開	1
海外に生産をお願いして20年ほどになりますが我が社に何も残らず思い出だけです今後国内で製造を続けられるように外注先も経営努力をして物が出来るグループを作る	1
海外のIT企業との連携	1

海外展開も良いが、国内で生産を高めももっと日本経済改善に努力したい	1
外国への商品流出を何とかして、止められないのが個人工場としては困難である。国又は地方自治体としての努力を望みます。	1
外注先が高齢者多く一代で廃業するという会社が多い、従って我々二次加工する先は減っている為困っています。若い人達に継承してもらうためにネジ業界も新しい知恵を出し合つて継続できる様な組織を作りたい	1
各メディアを通じて東大阪の各会社を広く伝えて欲しい。特に技術力。	1
各異業種企業と取組を行い東大阪市ブランドを築く	1
各企業の得意分野または新しい分野での企業交流や技術の連携で東大阪ならではの可能性をもっと“身近”に感じられるように取り組んで頂きたい	1
各産業の高い技術の伝承	1
若い世代の男子力、女子力の現場PR、学校等での出張、発信PR等	1
各社が会社看板等に製品の画像、詳細を明示することで一見してモノづくりのまちであると認識してもらふ。	1
各社が持つておられる技術力の情報発信量を増大させること。(当社では扱ひ品目に入らないです。)	1
環境配慮型配慮商品「エコマーク」認定を取得しているのが公共機関等に広く推薦して頂ければと思ひます。	1
観光客の集客。大阪には多くの観光客が来ているものの、全体の何割が東大阪に来ているのか?	1
企業に対する行政の支援	1
企業に対する税金を低くしたり、優遇したりする事を望む。	1
企業の誘致、モノづくりのまちを紹介するのに高井田の町工場を見せるのではなく、工業専用地域があるので、そちらを見せてあげるといいと思ふ	1
企業活動を行いやすい環境整備	1
企業誘致(大手)	1
機械化やIT化出来ないモノづくりをもっと衆知し価値を高める活動をしてほしい	1
機械等設備の近代化をする方向へと指導する機関を設けて気軽に相談できるシステムがあればよい	1
規制緩和してほしい。地図変更etc	1
起業誘致わかりやすい補助金制度のPRなどを零細企業にも積極的にを行う事	1
技術の町東大阪市として、製品に対する多様化と一つの製品に「メーカー」になれるような協力ができるとよいと思ふ。なかなか今は現状あるものを作る事のほうが多いので。	1
技術の伝承、海外に出さず、東大阪だから「造れる・出来る」というまちにしたい。	1
技術的なサポートの充実(産業支援センターの分析費用の補助等)	1
技術力	1
技術力、開発力の向上。その為の環境を整える事が必要。	1
技術力＝モノづくり。技術力一独自の完成品へつなげる取り組みが重要	1
技術力ある企業の維持、発展	1
技術力のある企業が多く存在するが、後継者不足や相続問題などで廃業に追い込まれる会社もある。市としての支援策が必要。	1
技術力の発信	1
技術力の保持、新規設備の導入	1
技術力向上や継承	1
居住区と商業区を、きっちりと区別する	1
居住地と工場が混在する雑然としたものづくりの街東大阪からIoT、AI時代に対応できるスマートな中小企業団地づくりを希望する。それには「共同開発」「創造支援」「輝くものづくり」等を包括した新しい発想のセンター機能を有した中小企業団地が必要だと思ひます。	1
協業して商品開発すべき	1
協力会社、協同事業を増やす事	1
教育機関による技術力向上のためのセミナー(安価に)	1
近年、市外・県外の広大な工業団地等への移転(誘致)が多くなってきている気がします。弊社の取引先も県外に移転しました。東大阪も交通の便が良いのを生かし、土地の開発等に力を入れ、優秀な技術力の流出を防ぐべきだと思ひます。	1
近年、若者たちの間でモノを作るということがネガティブにとらえられている傾向がある。中国・韓国などが低賃金を武器に製造していたため、そちらで作らせれば良いと考へている。しかし、本当に重要な主要部品や高精度品などは日本でしか作れないことをアピールしてモノを作ることはカッコイイと言ふ考へを広めれば、自然と東大阪も活性化すると思ふ。	1
近隣に住宅がたち、住居地域に指定され、操業がしづらなくなった。移転するにあつて、あつせんや補助してもらえないと将来続けていけない。	1
近隣住民からの苦情が多く、住工共生とは言い難い。この数十年の間に町工場も減り、もっと早期に市も政策を考へるべきではなかったか。モノづくりにくい町になってしまった…	1
区画整備	1
区画整備を強力に進め、工業地域と住宅地域を明確に分離し、その間に緩衝地帯を儲ける。中途半端な準工業地域等はなくす事。市の分割も一考かと思ふ。	1

具体的にわからない	1
減税、地元企業優遇施策、大企業誘致	1
減税と人材育成と情報発信	1
現在も取り組まれている東大阪ブランドや特産、歴史、文化、職人さん…近大等のコラボレーション。(木のラグビーボールやトライクン等)	1
現在工場の設備が老朽化でトラブルばかりで毎日たいへんです。考える時間もなし	1
現場の人達(特に若者)に達成感を与えられる環境(給与等)が必要かなと思う。ネクタイ、スーツ姿が多すぎる。現場で汗かく事の喜びを感じてもらい、職場環境・給与等に報われる時代に戻る(?)事が大事と思う。	1
現状で結構満足しています。立派な会社を沢山育てることで、役所だけで出来る事でもないし、立派な会社の卵(若い人)が起業出来る環境メリットを与える方法もありますが、あまり大事に育てても途中で倒産する、いろいろありますが今のままで結構よい市だと思っております。	1
個々の会社様のレベルのより一層の向上。安価な受注をしなくてもやっていけるような体質。	1
個々の企業がそれぞれに成り立ってゆかなくては、まちとしての存在もなくなりが生きて仕事に喜びを感じれるまちなしてほしい。	1
個人起業に対して仕事をあつせんして下さい	1
雇用に関する事(外国人・高齢者・新人など)パートやアルバイトなど底辺の教育。学生の訓練	1
後継ぎがいなくて廃業していく工場が多く、大切な技術がどんどん失われていきます。切実な問題です。	1
後継者が不足して、廃業する得意先がいままでたくさんありました。仕事がないといわれてきたからそういう問題ではないかと思っています。少人数の町工場では、最近のグローバル化にはたうちうができないし、技術力も不足しがちだと思ふ。重要なのは、技術の獲得だと思ふ。	1
後継者の育成	1
後継者の発掘・育成	1
後継者作り	1
後継者難、少子化で事業所の軒数が減ってきている中、その技術を保全および進化(深化)させるためには、企業単独同志のM&Aの側面支援といった取組も必要かもしれません。	1
交通網の整備。人材が集まらないため	1
公開討論会や勉強会がもっとあれば良い。①経営者に対して②従業員に対して③経営戦略④マネジメント⑤ホームページ⑥カタログ印刷⑦インターネットビジネス⑧ISO⑨etc… 東大阪では、全企業全スタッフの人間性、能力のレベルアップをしてあらゆる事に対し、プロフェッショナルを育ててくれる町というカタチで全国どこもしていない「モノづくり」に対し、「品質管理」「ISO」「5S」「本業の事」「本業に付随する事」「人間学」そういったバックボーンの学ぶ場所と時間を作っていけば、日本のシリコンバレーになれるかもしれない!あの何も無い所に今や700万人余りが集り本業だけでなく、製造業、IT、飲食、服、色んな業種が栄えている。結果、税収入が増え、インフラも整備でき、相乗効果が生まれた。	1
公共の支援をもっとしてほしい	1
公共事業拡大	1
工業事業用地の確保(職住混在ではなく)	1
工業団地の整備	1
工業地に住宅が増えて、後から来た住民が前からいた企業に対して苦情を訴えて企業側が仕事をやりづらくなって、肩身が狭い状況になっているので、もっと企業が仕事をしやすい環境を作っていけないと「モノづくりのまち」とすら言えなくなると思っています。	1
工業地域へ住宅建設(個人)はやめてほしい	1
工業地帯をもっと増やして誘致するべき	1
工業用地の確保とその周辺の交通整備。現在住宅地内にあり、又、道路が規制区域内にあり、困ることが多い。移転するにも工場用地が少ない。従業員が近くに住んでいるため遠くには行けない。情報がほしい。とても土地単価が高い。	1
工場が立地易いように	1
工場と住宅の関係をうまくして欲しい(騒音、二オイ、操業時間) 税金を安くして欲しい、全ての面で	1
工場の集積化と自然との調和(グリーンベルト)	1
工場を稼働していると騒音や車の出入りで近隣から苦情が出ることがある。安心してモノづくりが出来るような行政のサポートが欲しい。	1
工場を取り巻く環境を考えて欲しい。近隣住民との調和。中小企業の実情をもっと知ってほしい。	1
工場地、インフラなどの整備	1
工場地域が減少している今現代安心してモノづくりができる環境をもっと増やしてもらいたい。	1
工場誘致と人の交流。ホテルや大型レジャー施設等の誘致。北から南の交通アクセスの充実(公共の物)不便なのでどうしても大阪市内に向かっています。バスも本数が少なく、夜も早に時間までしか動いていない。	1
更なるPR。東大阪ブランドを意識、参加する地元企業のマインド醸成	1
更なる宣伝活動や支援	1
行政に対して個々の対応は悪いとは思わないが“市”としては良い評価も少ない。(当社は直接行政の方とやりとりが少なく理解が薄い。)	1
花園ラグビーワールドカップのまちぐるみの活性化はもっと中身を良くするべきと思う。地域参加型が理想。	1

高い技術力を活かして何か市のシンボルのようなものをつくる。学校の授業の一部として子供の頃から物づくりの楽しさ、大事さを教える。	1
高井田は準工業指定地域の為、弊社や知り合いの企業継続が非常に困難になってきている。一体、どこがモノづくりの町なのかと思う。このままではモノづくりの文化や歴史が消滅していくと思う。	1
高井田地域を個人住宅開発から守ってほしい。このままだと東大阪発の製品が減っていく様に思います。事業所税の廃止も思案してほしい。それに変わる財源は必要ですがもっと異業種間の交流も必要だと思います。格式張らずフレッシュに交流できる場を作ってほしい。	1
高専の充実	1
高等専門学校の誘致	1
高品質な商品は必ず東大阪で作られているというような「MADE IN HIGASHIOSAKA」というブランドを作り、東大阪市で作られた諸王品に付加価値があるように見せる	1
高齢化が進んでいる。若者が働きやすい取組を市全体として推進して下さい。取引先においても(ほとんど零細ですが)後継者がいない様です。	1
高齢者の多い製造業の技術を若い世代に残すために市・企業一丸となってアピールできる様な取り組みをしていただきたいです	1
国内外の企業からの東大阪市内の企業への問い合わせ窓口のようなものが設置され、認知(広く)されると良いと思う。	1
国内展示会等出展支援事業を継続・水深く頂けると東大阪市内企業およびまちのPRにつながると思っております。	1
今いろいろ支援の取組を重ねて一段と充実したものにす	1
今まで以上に情報を発信する	1
今持っている技術を更に高め、付加価値を高める製品を作り、モノづくりの町に貢献出来たらと思っております。	1
再開発過程の中で、住居地域と工業地域を明確に分離する	1
産、官、学一体となって先端技術(Lot、AI)の取り組み。将来的に必要とされる業種(モノづくり)の選別	1
産学連携、企業間連携を活発にして、東大阪発の商品を開発して、販売していく。	1
「東大阪ブランド」の認知度をアップさせる。	1
産官学の連携。小学生から大学まで物づくりの楽しさや重要性を知ってもらい、感じてもらうための授業を増やす。会社で体験教室をたくさんして、地元の企業の良さや人手不足、やりがいを感じてもらおう。全国から東大阪でものづくりしたいと集まってくる街を目指す。	1
産官学連携のネットワークをより一層強化し他国(とくにASEAN)の追従を許さない技術の高上	1
産業集積機能のリニューアルが必要	1
仕事の生産の受注があっても人材不足がある。若い人材育成ができない、入社してくれる高校生や大学生が東大阪の企業に来なくなった。当社としても魅力ある会社になって多くの人材が来て働いていただけるようがんばりたいと思います。	1
子供を含めた一般の方々にも工場体験をしてもらい、工場を身近に感じてもらえる企画があれば、ものづくりの良さを次世代に知ってもらえることが出来る。半径500m見ないで5~10社グループになればおもしろいと思う。	1
市と企業が一体となって、たくさんの技術力を全国に発信して行く必要が有ると思う。	1
市による情報公開や土木や建設業のような入札制度の創設。	1
市の取組の発信力。市全体は大きいので、加納工業団地内等と小さく交流させる取組があるといい。団地内の保育所とかも中小では首頭をとれる余裕がないため、市に事務局等をしてもらえるとありがたい。企業の交流は、代表同士より上記から従業員同士が仲良くなることから生まれると思います。	1
市場の将来動向や要求実態の解析及びその有用性の調査、またそれに基づく各モノづくりのビジョンや目的を明確にし、それを実現する為の、関係各社によるモノづくりプロジェクトの連携構築で東大阪ブランド製品を立ち上げるシステムと、それをマネジメントする東大阪機構(仮定)があれば、モノづくりの魅力ある街に成らないでしょうか。	1
市政、商工会、金融界が一体となり中小企業を支える取り組みを希望する。モノづくり企業や個人技能、技術を心底支えて欲しい。	1
市内の製造業は無税に。	1
市内の中学校に製品を展示するようにしてほしい。	1
市立産業技術センターの民間移転(あまりにも役所的で何の技術的な支えになっていない)設備等全ての機能を民間に委託してはどうか もっと活発な技術向上が生まれるはず。	1
支援施策1~5をもっと大胆にして、東大阪で物づくりを継続、拡大しやすくしてほしい。	1
支援等の発信力をもっと高める	1
私の加工賃は40年間同じです。	1
物価は何倍も上がっているのに部品も買えません。同業者も同じ事を言ってます。海外で安く加工するので国内は大変です。	1

私は城東区・放出で祖父、父の営業する製針メーカーに生まれ商業高校卒業後昭和41年より株式会社岩崎製針所へ勤務後同42年頃より硬質クロムメッキを社業として開始し この頃から業務に製針他に針の二次加工業が種類も増加して海外の顧客も増加してまいりましたが後継者が私の実弟が岸和田で創業していますか？戦前戦後を通じ取引を戴いた顧客が各商社を通じ泉州方面の織布、紡績工場などが九州、熊本、鹿児島等にたくさん創業中です。今ひとつは 紡績機械メーカーが其の分野の製造を中止された為に機械の修理が難しくなり 今後の問題です。今なら未だ何とか経験者、又は現場を知る人が居りますので考えようが有るののですか？	1
別に私の 考えては 繊維産業は時代遅れで斜陽産業の筆頭に考える人が多いようですがそうは思えません。どのような物質も全て繊維状に加工しあらゆる物質に成形すれば面白い時代が来ると思いますが 如何でしょうか？	
私共の衣料業界は工賃就任と、人の賃金支払いのバランスが悪く、人を雇うということが難しいのが現状です。メーカー側の強い立場と製造工場の弱い立場という関係を崩さないとよいモノづくりができないと思います。	1
試験設備や試作を簡易に安く提供できる機関の創造	1
資材の安価での流通	1
事業継承をサポートする取組	1
事業者に対する規制緩和(騒音、開発許可等) 工場と居住地域の棲み分け	1
事業所税等の事業を行う上での足かせとなっている税の撤廃。場所を必要とするものが多い事業の固定資産税を安価にする取組。特に事業所税は最悪。	1
事業団地の確保	1
時代の流れが速く、何で対応していいかわからない。	1
時代は少子化に突入しております。これからの人員確保、魅力的な企業が今後の東大阪＝モノづくりを継続してくれるのではないのでしょうか。機械も大昔よりはすぐれてる時代です。	1
次世代が必要としているニーズを先取りして行くこと。	1
治安が悪いところが気になる	1
自社製品を作り、社会に貢献したい。手伝ってください。よろしくお願いします。	1
社員・個人がモノづくりに対して魅力を持つ社員教育	1
社員がゆっくり回りを気にせず仕事ができる様な環境づくりをめざしたい！	1
社会の変化がめまぐるしく機械化IT化する中でも、ものを作る技術は人の手でないと出来ない部分、技能が有るので、その部分を大切に守っていきたくと思っています。いくら精密なロボットが開発されたとしても人の手に優る物は無いと思います。	1
社会見学等で子供ともっと関わりを持つことで、将来の働き手を育てる意識を高める	1
若い技術者の人材育成	1
若い人たちがモノづくりの現場を知らない。素晴らしいモノづくりの現場をもっと知ってもらう為に、市を上げてアピールが大事。特に学生にアピールできないか…	1
若い人にモノづくりの魅力。出来た時の喜び達成感を伝えたい	1
若い人材(経営者の交流)多業種	1
若い人材が減りつつあります。製造業の設備の近代化を進め職人がいなくても若人達が難しい加工が出来る様な企業にしないといけないと思う	1
若い人材の育成(やる気や考え方)	1
若い人材の確保	1
若い人材の確保。工場の事業承継(高齢化)子供のころは、“モノを作る”という喜びを知っているが、大人になるにつれて、喜びよりも労働条件を選ぶようになる。もっと“働くこと”を楽しみたいと思える大人を作る。	1
若い人達がモノづくりに興味をもってほしい	1
若い人達に技術を伝承していく事。	1
若者が	1
若者が魅力を感じる職種環境が必要。	1
若者に向けた雇用の政策など	1
若手人材へモノづくりの魅力を伝え若手人材の確保が必要。	
自社の魅力を仕事を知らない、業界を知らない若者に分かるように伝えられる、発信できる経営者、人事総務担当の研修と発信方法の研修	1
取組は役人、公務員ではなく民間人で。	
需要が大事皆んなが欲しがれる製品の開発が重要	1
大手メーカーに期待する！	1
周辺住民との関係を良好化させるような施策。法的規制についての定期的な説明会等の実施。	1
住居(民家)が近接していて、深夜操業や、騒音等で配慮を余儀なくされている。(当社、準工業地域)	1
住工の混在が問題となっているが、ここの早急解決をはからなければいけない。24時間稼働出来る場所の確保を行い、企業誘致を進めていく。地元の若者が就職先として選ぶ事が出来るようにモノづくりの情報を学校単位で伝達する。	1

住工共生まちづくり条例が施行されてからも、準工業地域内において相変わらず建売住宅販売業者の心無い分筆による狭小地開発の実態には抑制効果が出ている様にはあまり感じられないですし、転売意欲が強い圧倒数の宅建業者勢力を相手では、限られた準工業地域内にて工場移転を目的とした用地と建物取得は困難であり、立地や価格面で悪条件な物件が多く目立ちます。また同条例の立地促進補助金制度の対象条件として、モノづくり推進地域内において延床面積500㎡以上活用した工業立地では、小規模企業では大き過ぎて全く無縁な制度と思いつながら注目しております。平成30年度までで終了予定となっておりますが、更なる拡充や対策を希望したいものです。	1
住工混合の区画整理が必要。公害や環境等法規制が多すぎる(守りますが)	1
住工混在への上手な取組み	1
住工混在問題の解消。人材不足の解消や人材を確保しやすい環境づくり	1
住工分離をすすめ、すえ長く安心して操業できる環境をつくってほしい。このままでは、東大阪から追い出されてしまう。	1
住宅が増えているので規制して欲しい。もっと技術者が増える単価になる様国あげての支援。	1
住宅と工場が共生していると、モノづくり企業としては工場操業の弊害が大きい。「住工共生まちづくり」をどんどん進めて欲しい。	1
住宅と工場環境整備	1
住民との共存	1
従業員の通勤車輛の路上駐車がなく、ゴミ等の不法投棄もなく清潔で地元住民の方々に迷惑をかけない地域である事が第一だと思います。	1
従来からある物作りの工場が安心して操業できること	1
従来は独立志向の強い会社が多いと思うが、異業種・同業種の間で、合併してもよいくらいの協力関係を構築し、株式会社東大阪・八尾の一員としてシェアリングや最適化を仕事や事業・受注の面で進めるべきだと思う。	1
準工業地域での住宅対策。	1
商業地や住宅地への変換が進み、工場を運営する環境が現象しているように思います。現に、第2・第3工場を試験的に実施するような賃貸工場も少なく、ほとんどが倉庫での運用しかできません。かと思えば、休眠している建物や工場も目立ちます。うまくシェアできる様な仕組みを望みます。	1
小さな工場が廃業していくのが目立つ。若い人にも手先や服が汚れてものづくりが楽しく人の役に立つすばらしさを教える社会づくりが必要かと…。又、何でも安い物(こわれ易い輸入品)にとびつく企業や個人の風潮をかえられないものかなあと思えます。	1
常に国内ネットワークを密にし東大阪ものづくりコンセプトを国内外に発信していただきたい。	1
常に新しい発想をしていける企業と人をつみ出していくことが大事	1
情報。ルール作り、工程表、レイアウトなど。ソフトやハード面の具体的な参考例を公的機関が提案して提示して欲しい	1
情報発信、イメージ作りを継続していくこと。	1
情報発信力 ①多言語による、ホームページ、SNS等、継続的な情報発信をしているのかわからない。 ②専属部署(スタッフ複数で)の立上が必要ではないのか。	1
情報発信力 ①他言語によるホームページ、SNS等継続的な情報発信をしているのかわからない。 ②専属部署(スタッフ複数で)の立上が必要ではないのか。	1
情報発信力(ネット検索、同一キーワードでの上位化など)。市内企業同士のビジネスマッチング	1
情報発信力を高める必要ある	1
職人の効率的な育成	1
色々な人材の人や職種の人と関わりを持ち、様々な視点から見た考えで話し合う取組が必要だと思います。また、そのような取り組みをすることによって自分自身にも新たな経験や発見としてプラスになるのではないかと思います。	1
新しいモノづくりに意欲のある人達に選ばれるような街。環境整備、まずは道路を綺麗にしてほしい。それから渋滞のない街にしてほしい。税金も安くしてほしい。	1
新しい技術の育成の場合は達成できるまでの資金面の支援策、事業所負担を軽減して新規技術を取り入れ易くすることが大切と思う。古来の技術を保存・育成するためには販路の協力体制、海外への紹介など技術力を隆盛させるだけの販売ルートの構築が必要	1
新しい産業の創出で中小企業の全体的な発展のために市として、新産業の情報(例 新素材としてのカーボン繊維)とその市場性の調査	1
中小企業に対して上記内容の公表	1
技術支援センターがその技術の検証を通して中小に報告する。中小企業の多数の指示の基、共同で実践活動を行う	1
新しい商品の開発	1
新潟県三条で行われ、成功している『工場の祭典』の様なイベントで、一般の方にも広く知って、体験してもらう機会をつくる。また『ものづくり駅伝』の様なイベントも盛り上がるのでは、と考えています。	1
申し訳ありませんがよく分かりません。強いて述べるなら営業力(外部発信)の強化でしょうか…	1
人との交流、アピール	1

人の確保、税制優遇、資金調達など企業が作動し易い環境のサポートをして頂けると助かります。	1
人の流失を防ぐ、子供達にモノづくりの魅力を伝える(物がどうやって作られるか、働くおもしろさなど)、町の環境整備、世代間交流	1
人への教育、教育レベルの高い学校等により、良い人材が生まれる事により、質の良い人材を求め、優良な企業が集まり、良い環境と活気が地域に生まれる。	1
人が企業を作ると同じで、人が「まち」を作る。	1
人材の確保	1
人材の確保。若い世代の人材が働きたいと思えるような働き作り、まず整え、工業高校卒業予定者を積極的に求人できるシステムがほしい。	1
人材の確保に尽きると思う。	1
人材の確保育成が最大の問題である。ものづくりは人である。人があり育つ環境を公的機関が積極的に考えてもらいたい。	1
人材育成	2
人材育成、紹介	1
人材育成につける	1
人材育成を強化していきたい。	1
人材確保	1
人材確保、技術継承。	1
人材雇用の助成充実。	1
人材的支援	1
人材不足の解消など、中小企業への支援	1
衰退していく産業の保護、モノづくりの文化への発信	1
世間が知られている以上にみなさん人材確保に悩んでおります。その為、東大阪市、八尾市ととても多くの外国人研修生に頼っておるのが現実であります。この問題を解決していかなければモノづくりにとって大きな打撃となるのではないかと思っております。	1
成長分野に取組み出来る企業集団と育成メーカーとしての知名度を向上させる。	1
政府政策の働き方改革を実践するとすれば、長年東大阪市で居を構え、工場経営(納税と従業員雇用、200社を超す協力工場との協働)する企業を優遇する施策を打つ。市所有地、市所有物件の売却、使用へ思い切った特別補助、助成制度を施行する。当社で働き方改革と納税を両立するとはを語るとすれば、高い生産性と雇用社員の高い処遇を実現するには、市内に分散する工場・倉庫・開発・試験施設の集約がより効果的であり、新たな施設に託児所を設け多様性への取組みにより働き方への工夫も実現する。	1
生活する、工場用地の提供や案内	1
生産性を高めるためにロボット設備を導入し、アイデア、技術力、独創性を生かして魅力ある物世の中に出していく。東大阪にはいろんな企業や学生、研究者など連携していける環境があると思います。	1
製造企業の(開発部門等)の誘致、情報発信力の強化等	1
製造業各社が安心して操業できる環境の整備	1
西へ行く際の交通渋滞を緩和して欲しいです。移動の時間が非常にかかります。	1
税金を安くしてほしい	1
税収の上るモノづくりの町たとえば1カ所で依頼品加工が完成できる場所(異業種がより集まった所)	1
税制・補助金の拡充・人材の補強のしやすさ	1
積極的な産学官地域連携	1
先端技術(IOT、AI、ロボット、EV、ドローン)が発信出来るモノづくりの町	1
先端技術に関連した物作り技術が何でも揃えられるようになれば良いと考える	1
全国、世界からの受注、受入の確立化。東大阪市が受注して、各社に発注。そうすることによって、各社がもっと「モノづくりのまち」ということに興味があるのでないか。	1
全体の生産需要に対して人材が不足している。そのために他府県への仕事の流用が懸念されるので若者のものづくりへの関心を高めることが急務と考えます。	1
全体的に景気が良くなるようになってほしい。	1
素晴らしい工業団地が必要ではないでしょうか？	1
操業環境。いつまでここで出来るか分からないが、移転等はチャンスでもあるがリスクでもある。家の近くで働けることも大切。未来を担うものづくりの若者に東大阪という身近な街で世界に誇れる仕事をしているというスタイルはかっこいい。そんな生き方をしてみたいと共感してもらえるような努力が必要。駅からの距離が近く、音や光を気にしない場所です。ワクワクしながら働きたい。駅が近い場所の地下に工場地帯を作り、上は公園や商業施設とし、地下で精度よく作っています、しかも街中で、ということを一足早く世界に発信できるような施策を希望します。ショッピングモールのようなきれいな道を歩いて工場に出勤し、さりげなく世界一のものを作っているというような感じが良いです。	1
相続税の特別な減税。東大阪の中小企業はオーナー兼社長の形が多い。現在の相続税制度では事業承継が非常にむずかしい。相続税をおさめることによって経営に大きな負担がかかる。感覚的だが半分ぐらいの町工場は相続税により承継不可ではないだろうか？	1
他県ものづくり地区との交流	1

多種製造加工業の集まる団地の建設と研究機関の併設	1
体力に限りある中小の事業者は新しい展開を考えるに当り、やはり、用地(賃貸含む)に悩むことが多い。製造業が新たに参入しやすい環境が必要。今ある業者は大事だが、他所からやってくる事業社を増やし、その中から活躍するものが新しい発信をしてくれると思います。	1
大・中・小企業が関係なく協力しあえる取組が必要	1
大企業が日本産を大事にしようとする心	1
政府の大きな補助金	1
大阪の地にはこだわりますが、自己完結できる会社なので特に「東大阪市」にはこだわっていない。インターネットを使えばどこでも製造できる。	1
大手家電メーカーがひしめく関西でしたが海外進出により全体的にモノづくりの仕事が激減した。大手自動車メーカー等、東大阪市へ誘致できればモノづくりの活性化が図れると思う。	1
単にモノを作るのではなく独自の個性を生かしたモノづくりをすべきだと思う。又、それらの会社がモノづくりしやすい街づくりをすることが重要だと思う。	1
単品の部品ではなく、単品が2・3種あつまつた要素部品を作ることでいいですか？	1
単品度の割には小企業、零細企業が多く、今後増々減少すると予想される。M&A etcが必要ではないか？	1
地域のグリーン社会にかんするイベントがあれば、当社社員も参加したいと思います。交通渋滞の緩和や用水路の清掃、子供達の遊びの環境づくりに企業としても何かできることがないか考えたいと思います。	1
地域の会合やアンケートに出来るだけ参加し協力する	1
地域の活性	1
地域の若者が製造業へ就職しようと思う取組、また定着率を上げる仕組みが必要です。高校新卒を採用し続けていますが、面接では「人となり」について質問できずハローワークのルールが企業と若者両者に不幸を作っている事もあります。玉川支援学校の定着率90%以上に学ぶところがあると思います。	1
地域の連帯感が不足していると思います。そのためにも東大阪市のビジョン、将来イメージを小学生にも見えるように、また広く地域住民に示し行く事が最も重要に思います。住民が魅力を感じる町づくりが不可欠です。	1
地球環境の改善	1
地元若いうちから定住できるよう、まず「まちづくり」を頑張ってください。私自身、この会社で定年まで従事すべく大阪市内から東大阪に定住しましたが本当に住みにくい！！企業がその地で繁栄していくためには、その土地の若い人材の確保が不可欠だと思いますが、何せ東大阪は住みやすさ・福祉・イメージ、どれをとっても魅力が乏しい。どうか総合的な「まちづくり」をご検討ください！！	1
中小、零細企業の技術力が全面に押し出されているが工場操業にあたり、近隣住民(特に新しく工場近くに移住した人達)との住み分けができていない。モノづくりを重視するなら工場操業をやりやすい町づくり都市計画が必要。東大阪で仕事をしなくてもできないのが実情。	1
中小、零細企業の人材確保のため、各企業を持つ魅力(製品、技術等)をハローワークとは別の発信出来る方法	1
中小が生きやすい町に	1
中小企業(町工場)同士のコラボ拡大。技術者・デザイナー・販売会社を1つのプロジェクトとして取り組む。個のチカラより和のチカラで企画から販売までを一貫して取り組む。地域のブランド力の低下を感じる(東大阪ブランド)。特殊技術力のもった工場が少ないので、プロジェクトでブランディングすると良いと思う。	1
中小企業の税負担軽減。人材確保、技術者育成の費用負担	1
中小企業への補助金並びに支援	1
中小企業団地の大規模化	1
町の美観。古い工場の密集しているのは良くない(治安が良さそうには見えない)。流通業者も多いので、道の整備。計画性がなく作られた細い道が多い。	1
町工場のイメージを変えて行きたい。	1
町工場の多いのが特長と思いますが、もっと零細企業、個人事業主にとって働きやすいまちになれば、この東大阪で事業をしていきたいと思う。	1
町工場への経営支援・「モノづくり」のイメージを明るくし、若者に興味を抱かせる	1
長年培ってきた技術を絶やさない為に、事業及び技術の継承を御市が先頭に立って仕組みを作る事	1
鉄鋼だけでなく他の業種の情報も欲しい	1
展示会、展覧会に参加して広く一般の人たちに知ってもらおう	1
電気、水道ダイキンの助成、固定資産税の助成	1
電気容量の小さい商品の開発。	1
都市環境の整備が必要です。	1
東京の大田に比べると、まだ知名度が低いと思います。さらに知名度UPが必要だと思います	1
東京や海外など大きな市場への展示会出展支援	1
東京都大田区同様、東大阪は全国的に中小企業の集合、技術力を持った企業が多く存在しています。知名度は抜群ですが大手企業が少なく感じますので相互関係を強く持って技術力をお互いに切磋琢磨してさらにアピールし	1
に方法が必要では？	1
東大阪→全国、東大阪→グローバル、東大阪独自の流通網の様なものがあれば、もっと東大阪の製造業が活気が出る。	1

東大阪Projを企画し、Projで出力された商品を東大阪ブランドで発信するような、東大阪中小企業連携の仕組みをもっと活性化すれば良いと思う。	1
東大阪で製造していく上で土地が高く用地確保がむずかしい。住宅が多いので今後はこの地で続けていけるかわからない。	1
東大阪という地域のイメージ向上。”鯖江のメガネ”といったようななんとなく良い物を使っているイメージを持たせる為のブランド力向上	1
東大阪にある企業のほとんどが中小企業であるにもかかわらず、横のつながりがほとんどない為、市が商社的な役割を担い、それぞれの企業が欲する製品、技術を受けてマッチングすると、ほぼ東大阪だけで仕事がまかなえるのではないかと考えられます。又、それが確立すると、東大阪市が各中小企業を組織のいち部署として、一大ブランド企業として機能すれば面白いのではと思われま。	1
東大阪にて製造された優れた製品をいかに数多くの人・世間を知ってもらうか、ブランド力や広報・宣伝活動の取組が必要と思う。	1
東大阪には、色々な製品の部品を作っている会社が沢山あります。そして、それらの個々の会社の能力は、非常に高いと思われま。しかし、仕事を担っているのは製品のほんの一部分であることが多い為、完成品をきっちりプロデュースできる会社との協力体制が重要であると思われま。	1
東大阪には異業種の会社がたくさん有るので、どんな物でも私の会社に頼めば対応してくれるとたいへん喜ばれています。	1
東大阪には最終の組立工場がない。ロケットの部品を作ってもロケットは東大阪にはない。自動車も、船も、電車もない。これは東大阪に広い土地がないことに由来すると思う。ラグビー場よりもここにメーカーを置くべきだと思う。計画から45年以上もたつモノレールすら東大阪に来ていないまちがモノづくりのまちとは。東大阪の「公」にはブランド力はないです。市庁舎よりもモノレールの脚を建てる方が先でした。	1
東大阪のブランド品を数多く作る	1
東大阪のものづくり企業を一同に紹介できるマッチングサイト構築	1
東大阪の企業のマッチング(その為にまずどの様な企業があるのかを知り合う)・東大阪企業同士で共同開発に対しての援助・先進的な成果物を東大阪製としてマスコミに発信していく	1
東大阪の名前の付いた商品の開発。(今治タオルの様な)	1
東大阪は「モノづくり」のまちにこだわり過ぎている。現在及び将来に渡り「モノづくり」に対しては、発展しがたい状況だと判断する。人的、資金的、技術的に今までの様な資源は確保しがたい。今後においては「モノづくり」にこだわらず、市民が生活をして望ましい町になることを考えるべきである。	1
東大阪はモノづくりネットワークが育たない。京都は比較的うまくいっている。全国ネットの電子業界のコンソーシアムに参加しているが比較的うまく行っている	1
東大阪は大企業ではなく中小小規模の零細企業(家内工業的)が多く、外への働きも横の繋がりが内容に感じる。従って、後継者がいない場合、即廃業になる。もっともっとそのような町工場の方達が気楽に集える場、機会を作り発信して欲しい。	1
東大阪ブランドのPR	1
東大阪への大阪モノレール延伸により、大阪空港とつながることから出張客を受け入れやすくなり、商談、工場見学もされやすくなるのでは？	1
東大阪市＝モノづくりって定着していますから会社の紹介も大事ですが技術者の高齢化がすすみ、次の世代の若い人達へのアピールも大事なんだと思います(せっかくの技術を受継ぐ人材)	1
東大阪市が金属やプラスチックの化工だけでなく、電気・電子の分解でも活躍して欲しい。	1
東大阪市としてのPRを出来る限り多くの業種を含めて認知してもらおう場を多くすること。イベントの積極開催、販売会等も行おうと良い、一般の方に対してのイメージUPを計る施策が欲しい。	1
東大阪市としては工業系の高校への強化が必要だと思う	1
企業サイドでの人材育成はもちろんだが全国から学生の企業スカウトが来るようなイメージがものづくりのまち「東大阪市」の魅力に繋がると思う。	1
東大阪市には近くに多くの異業種が存在するので交流を深めてオリジナリティの有る製品を開拓する	1
東大阪市による工業用地の確保、斡旋	1
住宅地との区分け	1
東大阪市に於いて工場と民家が混在している事が、一番の問題であると、常々思っています。行政には限界が有るとは思いますが、出来るだけ民間の開発業者に指導を働きかけ下さい。	1
東大阪市の公共施設や民間施設へ地元で作っている部品を積極的に使い、東大阪市が企業にもっと情報発信していただきたいです。地産地消が地域の活性化につながると思います。	1
東大阪市の広報など	1
東大阪市の製品を市役所から使用して市役所及び工場を一体化を目指して欲しいです。	1
東大阪市はラグビー・物づくりの町として大阪ではそこそこの知名度はあるが全国的に見た場合まだまだアピールする取組が必要である。近大が色々な意味で著名度を上げてきたように東大阪市文化創造館が建築される予定でもあるし、最大阪府全体での立ち位置を固める必要があると思われま。	1
東大阪市は完成品メーカーが少なく、部品を作る会社やそれに携わる町工場が大多数を占めていると思う。その様な会社へのブランド力を与えるために東大阪ブランドに代わるモノを作って欲しい	1

東大阪市は中小のもの造り企業の集積地として有名となっているが、更に世界的規模の中で、モットモット知れ直る様な、工場見学会等を、定期的に企画して世界から人を集めて、有名にしては。今、日本の観光客が来る事で、日本の景気の落ち込みも小さい。	1
東大阪市は中小企業の町といわれているが、市として、その中小企業が安心して操業していける様な支援をしてほしい(仕事量・企業誘致、資金面)	1
東大阪市や日本の国は物事を安易に言ったり、深く考えてはいないと思う。小企業、零細企業にもアンケートだけでなく実際に資金を工面すべきと思う。	1
東大阪市特に高井田は「モノづくりの町」だと市長がおっしゃっていますがほんとうだろうか？ 仕事がしにくい町になってきた。製造業が発展しなければ雇用も生まれず飲食店も繁盛しないし東大阪から町工場が去って行く。なんとか安心して事業継承して地域雇用に繋げていけるようにお願いします。もっとステキな東大阪モノづくりの町になると感じています。	1
東大阪市内でのビジネスマッチングや展示会をもっと小規模事業者も巻き込んで、東大阪市民に対して、東大阪には小規模でもたくさんの企業があることをもっとしてもらおう場が必要。	1
東大阪市内の道路整備が整ってくれば、モノづくりの町としてアピールしやすいと思われま。	1
東大阪市発注の工事に、ウェーブ手すりや、ターフパーキング等、東大阪ブランドの製品を積極的に採用し、東大阪市が地元製品をもっとPRしていくべき。	1
東大阪市立の産業技術支援センター等の機関を、内容的に充実させて欲しい。いつも結果的に大阪産業技術研究所(和泉センター)を利用することになっています。	1
東大阪特有の技術力をもっと活かし、拡大できればと思われま。	1
東大阪独自のモノづくり企業への補助制度(モノづくり企業が減っていったら魅力のアピールなんてできないのでは。)	1
働き甲斐のある職場と魅力ある仕事(生活のできる賃金)	1
将来性のある安定度、で若い人も呼び込みたい	1
働く場所の環境を向上させると同時に生活の場の環境もさらに向上させる事が必要であると考えます。例えば布施駅の北の道路を産業道路に早く広げて結ぶ、小阪駅から北の道路を早く広げて完成させる。道路が広がり街路樹が生長すると町が美しく見えます。	1
同業、異業の会合をもっと広めたほうが良い	1
同業、異業種の交流会に積極的に参加し、今よりもっと協力会社を増やし、共有し合いながらモノづくりをしていきたい。	1
同業者の協力	1
同業者を見ていても、後継者が育たないのは、すべて単価が安いからだと思う。大企業の製品はどんどん高く成っているのにピラミッド型の底辺の3/1位の所は、20~30年も単価が上がらないその辺が大問題。いずれ日本の技術力は衰退し製品が劣化する。	1
道路が維持されていないし、製品の輸送時に製品が動いてキズ、ダメージになるので、平滑な道路が望ましい	1
道路や町並みなど、見た目を綺麗で清潔にすることで、もっと魅力ある都市になると思う。	1
道路整備をして渋滞の緩和をしてほしい。公共交通の便が悪い。	1
特にありません。	1
特にナシ	2
特になし	12
特になし。	1
特に考えていません	1
特殊加工技術や商品のPR(公的)の機会を多くする	1
独自のブランド商品の開発・販売。	1
日本のモノづくりがポジティブなイメージとして捉えられるためには、集約型単純労働ではなく、より高度で精神性の高い技術活動となることが求められる。モノづくりのまちとして魅力を感じてもらうには自治体が住工共生のまちづくりに人・モノ・カネといった側面からの支援が必要である。	1
日本のモノづくりは、中小企業とその底辺をささえており、日本の技術力が世界中のモノづくりをささえていると言っても過言ではないと思われま。例えば、大田区や東大阪市の中小企業が存続できる環境を行政や国が厚く保護してあげるべきだと思います。(税制・助成金等)	1
日本製にこだわったモノづくり	1
日本全体の産業にしめる割合をモノづくりの比率を下げないようにそれに関係する労働者の確保条件を良くする事(政治と企業で)	1
廃業・移店が目立ちます。市政で真剣に取り組むべきでは？	1
売先がないと製品を作ってもしかたない。開発のアイデアも出ないという声はよく聞きます。色々取組を東大阪市でされていますがごぞんじない方も多いいと思われま。	1
発進力とプラットフォーム戦略	1
物造りの「まち」と過大に自己評価しすぎている実体とかけ離れている	1
物造らない	1
弊社のような極小規模の企業にもメリットのある条例施策、一般に言われる「中小企業」に我々は入れてもらえないと感じる。	1

別に！	1
別になし	1
別に意見なし	1
補助金の拡大	1
法人税制優遇等、最低賃金や公共料金の上昇で目減りする利益を何とかおさえて欲しい。事業を続けていく上で明るい将来が見えません。	1
魅力をわかってもらう為にも、もっと大勢の人々(外国人を含む)に東大阪に来て頂く方策が絶対必要。	1
民家と共存の中でモノづくりに専念できる環境	1
ネットワークの充実、設備補助金	1
明るい話題がない	1
有名脚本家、有名俳優による映画やドラマの撮影を東大阪で(モノづくりを題材とした)	1
余っている土地を利用して工業団地を作る	1
様々なモノづくりに関する要望の情報を収集し、適切な製造の出来る企業に即時に情報を伝達し、要望通りの製品を作り、ユーザーに製品を引き渡せる環境を整えることが必要。	1
様々な測定が出来る支援センター等の充実	1
来年度より市からの企業グループ補助金を打ち切るという事ですが、うちきりらないように願う。	1
中小企業の町と言いながら、隣の八尾市や東京大田区の中小企業育成を見れば、東大阪市は育成が無いように思う。	1
利益を上げる事に徹底する。儲からない仕事に魅力がないと考えるからです。設備投資に見合う仕事に取り組みたいです。現状、工賃が安価なため作業時間を長くするという悪循環ですが、打破していきたいです。	1
旅行地をもっと多くし工場すまいそしてみどりが一体化	1
緑地・公演の整備	1
例えば物流の中心である運送トラックは道路に普通に停車して休んでいる。そうならないために休憩地を設けなくてはいけない。例えば、モノづくりのまちというのが閉鎖する工場も増えている。民だけの力ではどうしようもない問題が今後増えてくる。それにどう対処するかが大事になっていく。	1

計

521